

## 2020年度 山梨学院大学 学術研究業績一覧

(2020/4/1～2021/3/31 発表分)

【グローバル・ラーニング・センター】

氏名	業績区分	共著・単著の別 (単独・共同の別)	タイトル	出版社（発行所・掲載誌等） ・主催（学会名・大会名等）	発行年月日 (発表年月日)
トンプソン 美恵子	口頭発表	共著／共同	日本人大学生が書いたナラティブ作文の評価ー日本語ナラティブ作文用の評価項目を用いてー	2020年度日本語教育学会秋季大会・日本語教育学会	2020/11/29
	口頭発表	共著／共同	プロンプトによるナラティブ作文の評価の違いータイプの異なる「よいナラティブ」の提示ー	第52回アカデミック・ジャパニーズ・グループ定例研究会・アカデミックジャパニーズ研究会	2021/2/13
	著書	共著／共同	台湾日本語教師の協働学習に対する期待と不安	協働実践研究会 池田玲子（編）『アジアに広がる日本語教育ピア・ラーニング：協働実践研究のための持続的発展的拠点の構築』ひつじ書房	2021/2/24
	著書	共著／共同	海外の日本語教育現場における教師たちの学び：対話型教師研修における「ティーチング・ポートフォリオの可能性」	協働実践研究会 池田玲子（編）『アジアに広がる日本語教育ピア・ラーニング：協働実践研究のための持続的発展的拠点の構築』ひつじ書房	2021/2/24
	学術論文 (査読論文以外)	単著／単独	留学生の学習支援を通じた日本人学生の学び-「日本語サポートデスク」ピア・サポーターの事例から-	山梨学院大学経営学論集2号・山梨学院大学経営学部	2021/3/15
	口頭発表	共著／共同	第二言語としての日本語ナラティブ 作文に対する日本語母語話者教師の評価観点ーgood writing の評価はどう異なるかー	早稲田大学日本語教育学会 2021年 春季大会・早稲田大学日本語教育学会	2021/3/20
	学術論文 (査読論文以外)	共著／共同	第二言語としての日本語ナラティブ作文 の 評価 基準 とループリック の開発	大阪観光大学紀要20号・大阪観光大学	2021/3/31
中山 由佳	口頭発表	共著／共同	オンライン授業における演劇を導入した言語教育の可能性	言語文化教育研究学会	2021/3/6

## 2020年度 山梨学院大学 学術研究業績一覧

(2020/4/1～2021/3/31 発表分)

### 【グローバル・ラーニング・センター】

氏名	業績区分	共著・単著の別 (単独・共同の別)	タイトル	出版社（発行所・掲載誌等） ・主催（学会名・大会名等）	発行年月日 (発表年月日)
馬 秀麗	学術論文（査読論文）	単著／単独	《日本初級汉语教材语音训练中的重现问题》（日本中国語初級教材の発音訓練のレピティション）	北京外国語大学出版社	2021/5/13
	学術論文（査読論文）	共著／共同	Sustaining Multilingualism in Chinese Universities: Uzbekistan Students' Demotivation while Learning Chinese	MDPI, Switzerland	2021/9/14
大平 幸	調査・報告	共著／共同	大平幸・八木真奈美・嶋津百代・三代純平「パネル：「場」を問い直す「場」―研究と実践の蓄積と体系化を目指して―」	言語文化教育研究会例会	2020/3/8
	口頭発表	共著／共同	定住外国人の働く環境を作る「指示場面のCan-do statements」の活用 ― Cdsに基づいた「対話型評価活動」の試み―	日本語教育方法研究会37回研究会（於：桜美林大学）	2021/3/16
	調査・報告	共著／共同	村田和代、吉田悦子、大平幸「龍谷大学 地域公共人材・政策開発リサーチセンター 公開研究会」 『職場コミュニケーションの研究の可能性―多文化共生に向けて―』	龍谷大学 地域公共人材・政策開発リサーチセンター	2021/3/25
	学術論文（査読論文）	共著／共同	嶋津百代・大平幸・八木真奈美「場の考察から捉える日本語教育―活動と参加者と場の相互作用―」 『ヨーロッパ日本語教育（第23回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム論文集）』 pp. 162-182	『ヨーロッパ日本語教育（第23回ヨーロッパ日本語教育シンポジウム論文集）』	2021/7/1
河野 礼実	口頭発表	単著／単独	『日本語日常会話コーパス』における自称使用	国立国語研究所シンポジウム「日常会話コーパス」VI	2021/3/4
古屋 憲章	口頭発表	単著／単独	日本の地方大学におけるオンライン日本語授業の実践と課題―LMSとWeb会議ツールの連携を中心に―	韓国日語日文学会 2020年度夏季オンライン国際シンポジウム	2020/8/8
	口頭発表	単著／単独	日本語教育はインクルージョンとどのように向き合ってきたか―学習者の多様化と多文化共生の間―	外国語授業実践フォーラム 第20回会合	2021/3/14

## 2020年度 山梨学院大学 学術研究業績一覧

(2020/4/1～2021/3/31 発表分)

【グローバル・ラーニング・センター】

氏名	業績区分	共著・単著の別 (単独・共同の別)	タイトル	出版社（発行所・掲載誌等） ・主催（学会名・大会名等）	発行年月日 (発表年月日)
古屋 憲章	口頭発表	単著／単独	日本語教育としての対話のあり方ー「教育方法論としての対話」から「対話の場づくり」へー	韓国日本語日文学会 2020年度秋季学術大会	2020/10/24
	口頭発表	単著／単独	日本語教師の役割はどのように語られてきたか	韓国日本語教育學會・言語文化教育研究学会 共同開催2020年度 国際學術大會(第37-38回)	2020/12/5
	口頭発表	単著／単独	日本語教師の役割とあり方をめぐる言説の変遷	韓国日本語日文学会 2020年冬季国際学術大会	2020/12/19
	口頭発表	単著／単独	「対話」が育(はぐく)むわたしの言葉ー「会話のクラス」の向こう側へー	台中日本語教師勉強会オンライン03	2021/1/16